

原子力安全検証委員からいただいた  
ご意見を踏まえた取組状況について

2019年11月29日

関西電力株式会社



- 第18回原子力安全検証委員会（2019年6月5日）までに頂いたご意見のうち、「意見A」に整理している以下の項目について、その取組状況について取りまとめを実施。

＜参考＞

意見A：ご意見を踏まえ新たに**取組方針を策定**するとともに、**取組状況を検証委員会でフォロー**していくもの

意見B：ご意見に対する当社の考えや取組状況について、**委員に対して説明**したうえで、**意見Aか意見Cを判断**するもの

意見C：ご意見の趣旨に沿って既に取り組んでいるが、**社内で共有し、当社活動を進める**うえで**留意**するもの

ご意見の概要	検討段階※	実施段階
①労働災害の再発防止対策の重点化	○	



次頁

※「検討段階」のご意見については、次回以降の検証委員会において、引き続きフォローしていく。

ご意見	取組方針
<p><b>①労働災害の再発防止対策の重点化</b></p> <p>重大な労働災害が発生しているので様々な対策を取っている。あわせて、非常に多忙感があるという現場の悩みが伝わってきた。いかに現場が安全文化を保って取組めるかを考えると、再発防止対策の取組みを最適化する必要があるのではないか。そのために<b>再発防止対策で発見した問題の安全上の重要度、影響度、対策の効果の分析をやるべき</b>ではないか。<b>その上で効果的な対策に重点化してしっかり取組むという再発防止対策全体を最適化する</b>。そうやって、問題を同時に解決する方法を探っていかなければいけない。</p> <p style="text-align: right;">第16回検証委員会(2018.6.1)</p>	<p>【取組方針】</p> <p>労働災害が発生する都度、その原因を分析し、必要な対策を実施してまいりました。今後、それらの再発防止対策について、現場第一線の協力会社の方々の意見を聞き取り、その結果も踏まえて、<b>安全上の重要度や効果の大きさについて2018年度上半期を目処に改めて対策の見極めを行い、労働災害防止に向けての取組み内容の最適化を図ってまいります。</b></p> <p style="text-align: right;">【所管部門：原子力事業本部】</p>
<p>労働安全は人命などと同じリスク概念として上位にあるものだから、安全対策の中に外せない施策もあると考える。<b>効果が低いとして止めると、土台が崩れてしまう項目がある</b>ような気がする。座標軸をもう一つ加えるのは難しいかもしれないが、<b>安全を支える基本的な施策は外して、見直すほうが良いと思う</b>。</p> <p>また、<b>協力会社にも丁寧に説明し、理解を得る必要がある</b>。</p> <p style="text-align: right;">第18回検証委員会(2019.6.5)</p>	<p>【取組方針】</p> <p>土木工事が落ち着いたタイミングで実施する<b>労災対策の重点化については、安易に効果が低いなどの理由によって取りやめなどを検討するのではなく、関西電力（発注者）として、労働災害防止に向け持っておくべき視点（安全意識の醸成や教育研修、安全行動の徹底などの観点）も加味しながら、直近の労働災害の発生状況も踏まえ検討</b>してまいります。</p> <p>なお、重点化後の安全健康活動計画については、<b>重点箇所や変更箇所などについて協力会社へ丁寧に説明</b>してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【所管部門：原子力事業本部】</p>

**本日、ご確認いただきたい箇所**

<p style="text-align: center;">取組状況</p>	<p>「労災対策の重点化」については、上記方針に従って実施してまいります。現在、各種工事が最盛期を迎えているとともに、新たに労災も発生している中、対策の抜け・漏れがなく、また、作業員の安全に対する意識面や緊張感の持続にも配慮しながら、労働災害防止対策の充実に取り組んでいます。これら労働災害やその対策を踏まえ、施策の取捨選択を伴う労災対策の重点化は、土木工事が落ち着いたタイミングで実施すべく、具体的な内容について検討を進めてまいります。</p>
---	---